

従業者向け

児童発達支援・放課後等デイサービス 評価表

○本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援、及び放課後等デイサービス事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		○スペースは指定の基準以上の広さを確保できている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		○基準人員である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	●トイレ、玄関等バリアフリー面で改善が必要。●段差があり、車いすの利用は厳しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		○毎朝、清掃を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		●その日の利用人数の多さにより、個別の勉強部屋の利用に限界がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		○定例のミーティングで議題にあげ共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○年一回、保護者に対し評価アンケートを実施し、スタッフ間で共有し改善案を話し合っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○毎朝のサービス記録記入時に前日のフィードバックを行い情報を共有し、月一回の会議で話し合っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	●第三者による外部評価は現在実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		○社内研修、勉強会を実施している。(参加出来ない職員にも内容を共有している)
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	○HPIにて公表されている。 ●HPIは見る端末の設定によって、表示されない箇所もある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	4		○事業所独自で作成したアセスメントシートを使用している。
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		○月次週次で作成したアセスメントシートを使用している。
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		○日々、フィードバックして共有出来ている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		○五領域を意識し、アセスメントから抜粋して支援を行っている。地域のボランティア活動の方々にも参加いただいている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		○利用者の年齢や利用日、特性に応じて小集団や個別の活動を行っている。小さな達成感を感じられるよう支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	○月次、職員全員で検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	○定期的に行うもの、新しいものを組み合わせプログラムを決定している。●調整しているが、利用者の利用する曜日により参加出来る講座に偏りがでる場合がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4		○それぞれの児童に合わせた支援内容を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	○朝、ミーティングを行い共有している。出勤が午後の職員には個別に伝え共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	○翌日に実施している。○翌朝、必ず前日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。○残った職員でフィードバックしている。退勤時間が違い職員にはLINEや次の日に共有することがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		○利用日ごとにすべての児童に対して支援記録を作成している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		○モニタリングは6ヶ月に一度行い、その結果に応じて支援計画を作成している。
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		○4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。「自立支援と日常生活の充実のための活動」に重点をおいている。
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		○余暇時間では、自己選択できる活動を促している。選択肢が必要な子供には提示して意思決定できるようにしている。	
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		○関係機関の会議には理事長・児童発達管理責任者・支援主任が同席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	○地域の発達支援センター、学校、放課後等デイサービス、児童発達支援の事業所など定期的に連絡会議を行っている。●学校によって、先生の入替わりなどもあり対応はまちまちである。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	○近隣の公園への散歩等を行っている。●行事等には参加出来ない。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	○市外の放デイとの交流は行っている。●保育所等の訪問は実施できていない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		○日々の連絡帳のやり取りや、送迎時に対面して状況を伝え合い、共通理解を持つことが出来ている。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	○保護者が家庭で療育に自信を持っているよう必要な助言を行っている。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			

保護者との連携	33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	34	【 <u>児発センターのみ</u> 】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【 <u>児発センターのみ</u> 】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【 <u>児発センターのみ</u> 】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【 <u>放デイのみ</u> 】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		○学校によって対応が異なるが、先生との連絡会議を行うなど、担任などが事業所の見学を定期的に行っている。
	38	【 <u>放デイのみ</u> 】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	○就学前の情報は児童発達支援事業所の方が書面や出会って情報共有するよう努めている。
	39	【 <u>放デイのみ</u> 】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		○情報提供できる状態である。引越し、利用する施設を変更する利用者の支援情報を、その施設へ提供したことがある。○まだ卒業生がいない為分からない。情報を求められた場合、保護者の同意を得て提供している。
保護者への説明等	40	【 <u>放デイのみ</u> 】 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4		○案内があれば積極的に参加している。○法人の代表、児童発達管理責任者が参加している。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		○契約書、重説に沿って説明を行い同意を得ている。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		○保護者様とは、対面してお話を伺っている。大きな目標ではなく小さな目標の積み重ねだと伝え、保護者様の同意を得ている。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		○サービス計画を示しながら支援内容の説明を行い同意を得ている。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		○保護者からの要請があった場合には随時対応している。事業所に来て話を伺っている。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	●保護者会は年二回は実施したいが、年一回しか実施できていない。実施した活動では兄弟の方にも参加して頂けるようにしている。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		○法人内の苦情対応窓口、市の窓口を周知している。苦情については報告を速やかに行い、改善に向けた取組をしている。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		○毎月の活動予定を書面で提供している。活動写真の提供はアプリを通して提供している。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1	●ファイル等に「持込厳禁」など記載があればと思う。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	

	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2	○アレルギーがあるかどうか、事前に聞き取りを行っている。○特別留意がいるアレルギーにたいして、受け入れる機会があれば対応可能である。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		

保護者向け

児童発達支援・放課後等デイサービス 評価表

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援、及び放課後等デイサービス事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3			●活動がしやすいスペースが確保されていて伸び伸びと活動できると思います。(はい)
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		1	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			3	●視覚的にわかりやすいように、ホワイトボードにその日の内容や先生や友達の写真などで分かりやすくして下さっています。(はい)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			2	●宿題をする空間、遊ぶ空間などそれぞれ過ごしやすく環境が整っています。(はい)
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	11			1	
	8 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1	
	9 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1	
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			●毎日、違った講座が考えられている。(はい)●毎日、色々考えて下さり子供が飽きないように工夫されているとおもいます。(はい)●何かしらの講座が毎日あるので、講座の無い日が欲しいと子供が言っています。(どちらともいえない)
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8				4
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	1		
	13 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1		1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		5	●まだ利用して半年なので、詳しい事が理解できていません。(わからない)
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1			●ノートを毎日記入して下さりその日の様子や活動など知らせて下さってありがとうございます。(はい)●送迎時や連絡ノートを通して、その日にあったことを知ることができ助かっています。(はい)
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1	●困ったことがあった時などいつも相談や話をする時間を作って下さり支援して頂けてありがとうございます。(はい)
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	2	3		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					●毎日行事講座内容などお手紙で知らせてもらっています。(はい)
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10				2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	2	1			●毎日楽しみにしていて喜んで利用している。(はい) ●決まった講座が本人にとって負担な所があるようです。(どちらともいえない) ●お友達とのけんかやトラブルが増え、行きたくないと言口にする事があります。(はい)
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					●本当に満足しています。いつもありがとうございます。(はい)

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サザンWinG		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		~ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 10月 31日		~ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の生活空間の清潔さ、快適さ。	ホワイトボードでの予定確認、勉強スペースの設置など児童が安心して活動に取り組めるように設備を用意している。	清潔な生活空間がどのように維持されているのかが実感し、サザンWinG外の環境でも実践できるように、机の上の落書き/消しゴムごみの掃除など、児童と一緒に清掃に取り組む。
2	講座活動の他、定期的に行う活動、新しく実施する活動を織り交ぜて季節の感覚を掴んでもらうべく実践している。	それぞれの児童の利用日や頻度、児童の特性に応じて活動内容を調整している。	講座講師の予定や、児童の出席する曜日のミスマッチなどによって、ある程度の偏りは生じてしまっている。
3	引越や利用する施設を変更、就学している学校が変わるような事例があった場合に、その児童の支援情報をまとめ、共有している。		就学している学校を卒業した児童はまだいない為、学校の進学の際の情報の共有は実施できていない。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の意見交換、十全な振り返りができていない。	職員の勤務時間の都合上、全員での意見交換の実施が難しい。	職員の勤務時間の都合上、翌日の午前中に意見交換を行う形を続けていく。緊急性のある連絡は、引き続いて連絡ノートや職員間の連絡を通じてを共有していく。
2	第三者による外部評価が未実施である。		
3	生活空間において、バリアフリー化は実施されていない。	段差があり車椅子の利用は難しい。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サザンWinG

公表日 2024年10月31日

利用児童数 16名(14名配布)※2名兄弟の為

回収数 12枚

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3			●活動がしやすいスペースが確保されていて伸び伸びと活動できると思います。(はい)	この状態を継続していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		1		昨年度に引き続き“どちらともいえない”“わからない”の数は減っていません。職員の専門性について、よりわかりやすい形で伝えられるよう努力していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			3	●視覚的にわかりやすいように、ホワイトボードにその日の内容や先生や友達の写真などで分かりやすくして下さっています。(はい)	今後も利用者の状況に合わせて対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			2	●宿題をする空間、遊ぶ空間などそれぞれ過ごしやすく環境が整っています。(はい)	今後も、児童が安全に過ごせる生活空間の確保を実施していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11			1		
	8 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		スタッフ間だけでなく、保護者様とも情報共有を行いながら、支援の内容を全員が理解し調整できるように続けていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			●毎日、違った講座が考えられている。(はい)●毎日、色々考えて下さり子供が飽きないように工夫されているとおもいます。(はい)●何かしらの講座が毎日あるので、講座の無い日が欲しいと子供が言っています。(どちらともいえない)	指導計画に基づき、各スタッフの意見や児童の体調・意見などを考慮しつつ、無理なく利用いただけるようにした上で、児童本人に季節や時流を感じて頂けるように、また保護者様にも満足いただけるような活動にできるよう尽力していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8			4		普段の講座の時間では、地域清掃の時間を設けたり、長期休暇中においては、地域の介護支援事業所さんとの交流や、つばめ会の別事業所との交流など行っています。今後はもっと活動内容が分かりやすくなるよう、保護者様への解説・連絡に注力していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	1			一層わかりやすく、不安がないような説明ができるよう努めていきます。
	13 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1		1		一層わかりやすく、不安がないような説明ができるよう努めていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		5	●まだ利用して半年なので、詳しい事が理解できていません。(わからない)	要望があれば更に努めていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	1			●ノートを毎日記入して下さりその日の様子や活動など知らせて下さってありがたいです。(はい)●送迎時や連絡ノートを通して、その日にあったことを知ることができ助かっています。(はい)	今後も継続していきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		1		●困ったことがあった時などいつも相談や話をする時間を作って下さり支援して頂けてありがたいです。(はい)	要望があれば更に努めていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	2	3		今年度は保護者参加の行事の実施に至っていないため、次回の開催を検討していきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		子ども・保護者様両方のご意見・舌情に適切に対応できるよう、今後も尽力させていただきます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			1		保護者様と利用児童との間によりよい関係を構築・維持できることを大切にしながら続けていきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					●毎日行事講座内容などお手紙で知らせてもらっています。(はい)	今後も、わかりやすく活動内容を伝えられるよう努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	3					事務所内においても、金庫を設置し、重要な情報に関して保管していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1		今年4月より、災害及び感染症に対するBCPをつばめ会ホームページ上に記載しています。 つばめ会ホームページ/重要お知らせ (https://www.tsubamekai.com/blank-8)	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						前年度の質問用紙を使用した為、当該設問なし。次回から設問を実施していきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	2	1		●毎日楽しみにしていて喜んで利用している。(はい) ●決まった講座が本人にとって負担な所があるようです。(どちらともいえない) ●お友達とのけんかやトラブルが増え、行きたくないと言口にする事が多いです(いいえ)	相談や要望があれば随時対応していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				●本当に満足しています。いつもありがとうございます。(はい)	ありがとうございます。要望があれば更に努めていきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	サザンWinG			公表日	2024年 12月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		○スペースは指定の基準以上の広さを確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		○基準人員である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		●トイレ、玄関等バリアフリー面で改善が必要。●段差があり、車いすの利用は厳しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		○毎朝、清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			●その日の利用人数の多さにより、個別の勉強部屋の利用に限界がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		○定例のミーティングで議題にあげ共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○年一回、保護者に対し評価アンケートを実施し、スタッフ間で共有し改善案を話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○毎朝のサービス記録記入時に前日のフィードバックを行い情報を共有し、月一回の会議で話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		●第三者による外部評価は現在実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		○社内研修、勉強会を実施している。(参加出来ない職員にも内容を共有している)	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	○HPIにて公表されている。	●HPIは見る端末の設定によって、表示されない箇所もある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	4		○事業所独自に作成したアセスメントシートを使用している。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		○月次週次で作成したアセスメントシートを使用している。	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		○日々、フィードバックして共有出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		○五領域を意識し、アセスメントから抜粋して支援を行っている。地域のボランティア活動の方々にも参加いただいている。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		○利用者の年齢や利用日、特性に応じて小集団や個別の活動を行っている。小さな達成感を感じられるよう支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	○月次、職員全員で検討している。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	○定期的に行うもの、新しいものを組み合わせプログラムを決定している。	●調整しているが、利用者の利用する曜日により参加出来る講座に偏りがでる場合がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4		○それぞれの児童に合わせた支援内容を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	○朝、ミーティングを行い共有している。出勤が午後の職員には個別に伝え共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	○翌日に実施している。○翌朝、必ず前日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。○残った職員でフィードバックしている。退勤時間が違い職員にはLINEや次の日に共有することがある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		○利用日ごとにすべての児童に対して支援記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		○モニタリングは6ヶ月に一度行い、その結果に応じて支援計画を作成している。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		○4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。「自立支援と日常生活の充実のための活動」に重点をおいている。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		○余暇時間では、自己選択できる活動を促している。選択肢が必要な子供には提示して意思決定できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		○関係機関の会議には理事長・児童発達管理責任者・支援主任が同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	○地域の発達支援センター、学校、放課後等デイサービス、児童発達支援の事業所など定期的に連絡会議を行っている。	●学校によって、先生の入れ替わりなどもあり対応はまちまちである。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	○近隣の公園への散歩等を行っている。	●行事等には参加出来ていない。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	○市外の放デイとの交流は行っている。	●保育所等の訪問は実施できていない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		○日々の連絡帳のやり取りや、送迎時に対面して状況を伝え合い、共通理解を持つことが出来ている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	○保護者が家庭で療育に自信を持っているような必要な助言を行っている。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		○学校によって対応が異なるが、先生との連絡会議を行うなど、担任などが事業所の見学を定期的に行っている。		

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	○就学前の情報は児童発達支援事業所の方が書面や出会って情報共有するよう努めている。	
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		○情報提供できる状態である。引越し、利用する施設を変更する利用者の支援情報を、その施設へ提供したことがある。○まだ卒業生がない為分からない。情報を求められた場合、保護者の同意を得て提供は出来る。	
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4		○案内があれば積極的に参加している。○法人の代表、児童発達管理責任者が参加している。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		○契約書、重説に沿って説明を行い同意を得ている。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		○保護者様とは、対面してお話を伺っている。大きな目標ではなく小さな目標の積み重ねだと伝え、保護者様の同意を得ている。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		○サービス計画を示しながら支援内容の説明を行い同意を得ている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		○保護者からの要請があった場合には随時対応している。事業所に来て話を伺っている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		●保護者会は年二回は実施したいが、年一回しか実施できていない。実施した活動では兄弟の方にも参加して頂けるようにしている。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		○法人内の苦情対応窓口、市の窓口を周知している。苦情については報告を速やかに行い、改善に向けた取組をしている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		○毎月の活動予定を書面で提供している。活動写真の提供はアプリを通して提供している。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		●ファイル等に「持込厳禁」など記載があればと思う。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		
非常時等の対応	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1		
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2	○アレルギーがあるかどうか、事前に聞き取りを行っている。○特別留意がいるアレルギーにたいして、受け入れる機会があれば対応可能である。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		

応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			